

残念な私に私の祈は 着物も昔合着くもない
 多少食器が少くも それを出すようには
 ととろえりのほ せんとうなとだ
 下切の増用とそのううなととく候いふと合の
 反産も又いっつと着ることはなれぬ
 どうしううと と言つていら
 こまいううの物なれ 印が
 にも可氣とるう
 そういう所へ 出すのは けりや
 人の氣持は 不思議なものだ

知らし たいけれど その氣とるう
 長い物 土印にして きたものも 手は
 になう 手印の だ
 時と共に 高麗の 手印が 変わって 来た
 こそ思えは ぶもろい
 昔かこの 氣持と 土印と 思つて いら
 それに けりや と いらぬ ぬあて 来た

2020
4/8